



## 2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月5日

上場会社名 株式会社フルヤ金属 上場取引所 東  
 コード番号 7826 URL http://www.furuyametals.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 榎田 裕之 TEL 03-5977-3377  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年6月期第1四半期の連結業績（2020年7月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	4,893	15.5	975	29.3	935	21.8	583	11.2
2020年6月期第1四半期	4,236	△25.8	754	△50.7	767	△50.6	524	△40.2

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 578百万円 (8.9%) 2020年6月期第1四半期 531百万円 (△40.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	98.06	97.50
2020年6月期第1四半期	86.31	85.83

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第1四半期	41,450	22,134	52.7
2020年6月期	31,833	14,429	45.0

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 21,845百万円 2020年6月期 14,337百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期（予想）	—	0.00	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,300	2.1	4,500	22.3	4,400	17.1	2,900	14.4	432.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期1Q	7,265,212株	2020年6月期	7,265,212株
② 期末自己株式数	2021年6月期1Q	309,020株	2020年6月期	1,528,983株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期1Q	5,948,388株	2020年6月期1Q	6,078,387株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米中の貿易摩擦拡大に加え、収束が見えない新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化していることで、観光・外食・自動車関連業界を中心に厳しい状況が続きました。

このような経済環境の中、国内・海外向けイリジウムルツボや銀合金ターゲットの受注が減少し、有機EL向け原材料・化合物の受注が一服しましたが、HD向けルテニウムターゲットや半導体製造装置向け温度センサー、電極向け化合物、精製・回収(リサイクル)の受注が堅調に推移しました。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高4,893百万円(前年同四半期比15.5%増)、売上総利益1,571百万円(前年同四半期比20.8%増)、営業利益975百万円(前年同四半期比29.3%増)、経常利益935百万円(前年同四半期比21.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益583百万円(前年同四半期比11.2%増)となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

## ①セグメント別の業績

## [電子]

ガラス溶解装置向けのプラチナ製品の受注が堅調に推移し、大型のイリジウム製品の受注もありましたが、米国向けのイリジウムルツボの受注が一時的に減少し、スマートフォンなどのSAWデバイス(必要な周波数信号を取り出すデバイス)に使用されるリチウムタンタレート単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注も伸び悩んだことから、売上高1,134百万円(前年同四半期比19.2%増)、売上総利益267百万円(前年同四半期比0.0%減)となりました。

## [薄膜]

スマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットの受注が減少したものの、HD向けルテニウムターゲットの受注が堅調に推移し、売上高1,822百万円(前年同四半期比5.8%減)、売上総利益659百万円(前年同四半期比10.8%増)となりました。

## [センサー]

半導体業界の活況を受け、半導体製造装置メーカーや海外半導体メーカーからの受注が好調に推移し、高付加価値品も伸びていることから、売上高710百万円(前年同四半期比36.9%増)、売上総利益296百万円(前年同四半期比101.8%増)となりました。

## [ケミカル]

有機EL向け貴金属原材料や化合物の受注が一服したものの、触媒や電極向けの貴金属化合物、精製・回収(リサイクル)の受注が堅調に推移したことから、売上高1,204百万円(前年同四半期比52.2%増)、売上総利益338百万円(前年同四半期比20.0%増)となりました。

## ②海外売上

当第1四半期連結累計期間における海外売上高は2,739百万円(総売上高に占める割合は56.0%)となりました。地域別にはアジア向け売上高2,076百万円(海外売上高に占める割合は75.8%)、北米向け売上高362百万円(海外売上高に占める割合は13.2%)、欧州向け売上高234百万円(海外売上高に占める割合は8.6%)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は41,450百万円(前連結会計年度末比9,617百万円の増加)、負債は19,315百万円(前連結会計年度末比1,911百万円の増加)、純資産は22,134百万円(前連結会計年度末比7,705百万円の増加)となりました。

## ①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産残高は29,559百万円となり、前連結会計年度末比8,672百万円増加いたしました。これは受取手形及び売掛金が847百万円減少しましたが、現金及び預金が6,096百万円、たな卸資産が2,851百万円、未収消費税等が569百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

## ②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産残高は11,890百万円となり、前連結会計年度末比944百万円増加いたしました。これは有形固定資産が987百万円増加したことが主な要因であります。

## ③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債残高は9,714百万円となり、前連結会計年度末比2,854百万円増加いたしました。これは買掛金が1,285百万円、短期借入金が900百万円、設備関係未払金が813百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債残高は9,601百万円となり、前連結会計年度末比942百万円減少いたしました。これは長期借入金が952百万円減少したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は22,134百万円となり、前連結会計年度末比7,705百万円増加いたしました。これは資本剰余金が1,601百万円増加し、自己株式が5,784百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2020年8月6日付「2020年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表しております計画から変更はありません。但し、自己株式を処分したことにより、1株当たり当期純利益を498円13銭から432円49銭に変更しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,052	8,148
受取手形及び売掛金	3,051	2,203
商品及び製品	961	932
仕掛品	1,542	1,930
原材料及び貯蔵品	12,695	15,188
未収消費税等	473	1,042
その他	111	114
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	20,886	29,559
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,213	2,998
機械装置及び運搬具(純額)	4,463	4,468
土地	1,727	1,727
リース資産(純額)	119	111
建設仮勘定	1,505	1,709
その他(純額)	47	49
有形固定資産合計	10,077	11,065
無形固定資産		
	46	57
投資その他の資産		
投資有価証券	27	19
繰延税金資産	680	637
その他	115	112
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	822	767
固定資産合計	10,946	11,890
資産合計	31,833	41,450
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,110	2,396
設備関係未払金	219	1,032
未払法人税等	745	347
賞与引当金	257	125
役員賞与引当金	72	—
短期借入金	2,600	3,500
1年内返済予定の長期借入金	820	790
その他	1,034	1,521
流動負債合計	6,860	9,714
固定負債		
長期借入金	9,362	8,410
退職給付に係る負債	659	676
資産除去債務	25	25
その他	496	489
固定負債合計	10,543	9,601
負債合計	17,404	19,315
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本剰余金	5,414	7,015
利益剰余金	10,741	10,865
自己株式	△7,249	△1,465
株主資本合計	14,351	21,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	2
為替換算調整勘定	△14	△18
その他の包括利益累計額合計	△13	△15
新株予約権	92	92
非支配株主持分	—	197
純資産合計	14,429	22,134
負債純資産合計	31,833	41,450

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上高	4,236	4,893
売上原価	2,935	3,321
売上総利益	1,300	1,571
販売費及び一般管理費	546	595
営業利益	754	975
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	16	—
助成金収入	5	—
受取家賃	4	4
その他	1	0
営業外収益合計	28	5
営業外費用		
支払利息	12	13
為替差損	—	24
その他	1	7
営業外費用合計	14	45
経常利益	767	935
特別損失		
投資有価証券評価損	—	8
特別損失合計	—	8
税金等調整前四半期純利益	767	926
法人税、住民税及び事業税	154	301
法人税等調整額	89	43
法人税等合計	243	345
四半期純利益	524	580
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	524	583

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	524	580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	1
為替換算調整勘定	△6	△3
その他の包括利益合計	6	△2
四半期包括利益	531	578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	531	581
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△2



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2020年8月26日開催の取締役会決議に基づき、2020年9月14日付で自己株式1,220,000株の処分を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が1,601百万円増加し、自己株式が5,784百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が7,015百万円、自己株式が1,465百万円となっております。

(追加情報)

(たな卸資産の固定資産振替)

当社グループは、当第1四半期連結累計期間においては、たな卸資産の固定資産振替は行っておりません。

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年9月30日)

	原材料及び貯蔵品	機械装置及び運搬具
振替額(百万円)	△270	270

	商品及び製品	機械装置及び運搬具
振替額(百万円)	—	—

	仕掛品	建設仮勘定
振替額(百万円)	△289	289

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2020年9月30日)

	原材料及び貯蔵品	機械装置及び運搬具
振替額(百万円)	—	—

	商品及び製品	機械装置及び運搬具
振替額(百万円)	—	—

	仕掛品	建設仮勘定
振替額(百万円)	—	—

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	センサー	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	951	1,934	518	791	4,195	40	4,236
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	951	1,934	518	791	4,195	40	4,236
セグメント利益	267	594	146	282	1,291	9	1,300

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品の販売等であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	センサー	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,134	1,822	710	1,204	4,870	22	4,893
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,134	1,822	710	1,204	4,870	22	4,893
セグメント利益	267	659	296	338	1,562	9	1,571

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品の販売等であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(重要な後発事象)

(第三者割当による自己株式の処分)

当社は、2020年8月26日開催の取締役会において、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社を割当先とする第三者割当による自己株式の処分を実施することを決議し、2020年10月13日に振込が完了しております。本第三者割当振込みにより、資本剰余金が5,906千円増加し、自己株式が21,337千円減少しております。

- (1) 処分期日 2020年10月13日
- (2) 処分株式数 普通株式 4,500株
- (3) 処分価額 1株につき6,054.05円
- (4) 処分価額総額 27,243,225円
- (5) 募集または割当の方法 第三者割当(割当先:三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)
- (6) 資金使途 設備投資資金、借入金返済資金及びプラチナグループメタルの調達資金に充当